2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	ＩＣＤＡホールディングス株式会社	上場取引所	東・名
コ ー ド 番 号	3184	URL	https://www.icda.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	向井　弘光
問合せ先責任者	（役職名） 経営企画室長	（氏名）	杉浦　公彦　(TEL) 059-381-5540
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	20,121	7.3	991	8.0	1,001	5.4	639	1.5
2026年３月期中間期	18,750	1.4	918	△12.2	950	△10.5	629	△9.4

（注）包括利益 2027年３月期中間期　894百万円（　26.9%）　2026年３月期中間期　704百万円（　7.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	304.46	―
2026年３月期中間期	299.88	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	22,122	12,828	56.2
2026年３月期	22,243	12,086	52.7

（参考）自己資本 2027年３月期中間期　12,439百万円　2026年３月期　11,719百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	70.00	70.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	70.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	1.4	2,051	5.1	2,050	3.0	1,346	6.2	641.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,100,000株	2026年３月期	2,100,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	279株	2026年３月期	279株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,099,721株	2026年３月期中間期	2,099,779株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期(中間期)決算短信(添付資料)３ページ「１.経営成績等の概況（３)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（収益認識関係） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当社グループの主要エリアである三重県下においては、景気は緩やかな改善が継続するなかで、各国の政治情勢の変動等の影響を受け、エネルギー価格上昇や原材料高騰等による製造業の業績悪化や、個人消費等の鈍化が懸念されております。また、自動車業界における業界再編成や、石油由来の原材料不足による製品供給遅れ等の影響が懸念されております。

当社グループにおいては、車両価格及び金利上昇等の影響を受けてはおりますが、既存顧客に対するフォロー活動等により、自動車販売関連事業における新車販売台数の減少部分を他部門でカバーする事ができました。また自動車リサイクル事業においては、輸出関連売上の増加と、資源相場等の価格安定による資源関連売上の増加により、大幅に増益となりました。

これらの結果、売上高は201億21百万円と前年同期と比べ13億70百万円(7.3%)の増収、営業利益は9億91百万円と前年同期と比べ73百万円(8.0%)の増益、経常利益は10億1百万円と前年同期と比べ51百万円(5.4%)の増益、親会社株主に帰属する中間純利益は6億39百万円と前年同期と比べ9百万円(1.5%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は201億21百万円と前年同期と比べ13億70百万円(7.3%)の増収、営業利益は9億91百万円と前年同期と比べ73百万円(8.0%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産車は、車両価格の上昇等の影響により、国産新車販売台数は前年同期比4.9%減の2,708台となりました。輸入車は、商品入庫状況が改善したことにより、輸入車新車販売台数は前年同期比10.6%増の208台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比4.0%減の2,916台となりました。中古車販売については、概ね順調に推移しており、中古車販売台数は前年同期比10.3%増の5,320台となりました。

これらの結果、売上高は193億67百万円と前年同期と比べ13億12百万円(7.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は9億75百万円と前年同期と比べ1百万円(0.2%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化処理)は前年同期比7.5%減の3,731台となり、使用済自動車の入庫は、前年同期比6.7%減の3,646台となりました。売上高は、リユース部品のうち輸出関連売上が増加し、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の一部の資源相場は高値で推移しており資源関連売上が増加いたしました。

これらの結果、売上高は7億54百万円と前年同期と比べ58百万円(8.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億48百万円と前年同期と比べ81百万円(122.1%)の増益となりました。

② 経常利益

営業外損益については、営業外収益は減少し、営業外費用は増加いたしましたが、営業利益が増加したことにより、経常利益は10億1百万円と前年同期と比べ51百万円(5.4%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する中間純利益

親会社株主に帰属する中間純利益については、経常利益の増加により、税金等調整前中間純利益は10億1百万円と前年同期と比べて51百万円(5.4%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は3億35百万円となりました。これらの結果、当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益は6億39百万円と前年同期と比べ9百万円(1.5%)の増益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

① 財政状態の分析

（資産の部）

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1億21百万円減少し、221億22百万円となりました。これは主に、商品及び製品の減少7億47百万円、受取手形及び売掛金の減少44百万円、現金及び預金の増加3億63百万円等によるものであります。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より8億63百万円減少し、92億93百万円となりました。これは主に、買掛金の減少9億2百万円、借入金の減少3億35百万円、未払法人税等の減少73百万円等によるものであります。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より7億41百万円増加し、128億28百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上6億39百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億35百万円、配当金の支払1億46百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は前年同期と比べ16百万円減少し、9億82百万円となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は前年同期と比べ15億68百万円増加し、29億9百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が10億1百万円、減価償却費が5億41百万円、棚卸資産の減少額18億78百万円、前受金の増加額2億73百万円による資金の増加と、仕入債務の減少額9億2百万円、法人税等の支払額3億93百万円等による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は前年同期と比べ9億89百万円増加し、20億86百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出20億44百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は前年同期と比べ1億62百万円増加し、4億88百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少額2億円、長期借入金の返済による支出1億35百万円、配当金の支払額1億46百万円等による資金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2026年５月15日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	728,896	1,092,377
受取手形及び売掛金	635,700	591,347
商品及び製品	7,258,680	6,510,736
仕掛品	3,368	6,045
原材料及び貯蔵品	95,846	69,294
その他	433,730	189,028
貸倒引当金	△231	△213
流動資産合計	9,155,991	8,458,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,913,668	2,876,433
土地	6,888,172	6,930,971
その他（純額）	1,773,894	2,110,914
有形固定資産合計	11,575,735	11,918,320
無形固定資産	35,473	37,212
投資その他の資産	1,476,611	1,708,223
固定資産合計	13,087,819	13,663,756
資産合計	22,243,811	22,122,373

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,298,822	2,395,941
短期借入金	1,071,436	871,436
未払法人税等	422,646	348,893
前受金	2,111,049	2,384,646
賞与引当金	168,965	176,261
その他	563,725	722,520
流動負債合計	7,636,646	6,899,699
固定負債		
長期借入金	1,403,565	1,267,847
役員退職慰労引当金	358,841	365,373
退職給付に係る負債	695,849	698,866
その他	62,068	62,113
固定負債合計	2,520,325	2,394,200
負債合計	10,156,971	9,293,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	8,998,775	9,491,079
自己株式	△687	△687
株主資本合計	11,308,157	11,800,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	295,775	531,608
退職給付に係る調整累計額	115,686	107,670
その他の包括利益累計額合計	411,461	639,278
非支配株主持分	367,221	388,732
純資産合計	12,086,840	12,828,473
負債純資産合計	22,243,811	22,122,373

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	18,750,570	20,121,446
売上原価	15,345,827	16,493,162
売上総利益	3,404,742	3,628,284
販売費及び一般管理費	2,486,556	2,636,755
営業利益	918,186	991,529
営業外収益		
受取配当金	9,723	12,987
受取賃貸料	5,823	8,018
受取保険金	26,852	12,195
受取負担金	1,160	760
その他	5,764	11,097
営業外収益合計	49,323	45,059
営業外費用		
支払利息	13,953	32,037
支払手数料	2,278	1,906
その他	1,012	644
営業外費用合計	17,243	34,588
経常利益	950,265	1,001,999
税金等調整前中間純利益	950,265	1,001,999
法人税、住民税及び事業税	282,934	321,162
法人税等調整額	25,163	14,266
法人税等合計	308,097	335,429
中間純利益	642,168	666,570
非支配株主に帰属する中間純利益	12,477	27,286
親会社株主に帰属する中間純利益	629,690	639,284

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	642,168	666,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,258	235,833
退職給付に係る調整額	△4,707	△8,100
その他の包括利益合計	62,551	227,732
中間包括利益	704,719	894,303
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	692,273	867,101
非支配株主に係る中間包括利益	12,446	27,201

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	950,265	1,001,999
減価償却費	456,897	541,874
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,827	7,295
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	6,395	6,531
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	5,173	△8,740
受取利息及び受取配当金	△11,165	△15,253
支払利息	13,953	32,037
売上債権の増減額（△は増加）	253,538	44,352
棚卸資産の増減額（△は増加）	△732,821	1,878,506
仕入債務の増減額（△は減少）	1,068,804	△902,881
前受金の増減額（△は減少）	64,152	273,596
その他	△364,859	460,103
小計	1,707,506	3,319,423
利息及び配当金の受取額	11,165	15,253
利息の支払額	△13,959	△32,244
法人税等の支払額	△363,823	△393,421
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,340,889	2,909,010
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△1,091,465	△2,044,719
投資有価証券の取得による支出	△4,605	△4,847
その他	△1,455	△7,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,097,526	△2,086,768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△71,428	△135,718
配当金の支払額	△147,004	△146,915
非支配株主への配当金の支払額	△5,690	△5,690
その他	△1,874	△436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,996	△488,760
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△82,633	333,481
現金及び現金同等物の期首残高	1,081,770	648,808
現金及び現金同等物の中間期末残高	999,136	982,290

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額(注) ２
	自動車販売関連事業	自動車リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,055,115	695,454	18,750,570	－	18,750,570
セグメント間の内部売上高又は振替高	48,005	26,494	74,499	△74,499	－
計	18,103,121	721,948	18,825,069	△74,499	18,750,570
セグメント利益	973,268	66,972	1,040,240	△122,054	918,186

（注）１．セグメント利益の調整額△122,054千円には、セグメント間取引消去2,638千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△124,693千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

２．セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額(注) ２
	自動車販売関連事業	自動車リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,367,194	754,252	20,121,446	－	20,121,446
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,787	26,268	53,055	△53,055	－
計	19,393,981	780,521	20,174,502	△53,055	20,121,446
セグメント利益	975,197	148,756	1,123,953	△132,424	991,529

（注）１．セグメント利益の調整額△132,424千円には、セグメント間取引消去△296千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△132,127千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

２．セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車販売関連事業	自動車リサイクル事業	計	
新車(国産車)	7,835,922	―	7,835,922	7,835,922
新車(輸入車)	1,028,715	―	1,028,715	1,028,715
中古車	7,062,009	―	7,062,009	7,062,009
サービス(車検・点検整備等)	2,080,515	―	2,080,515	2,080,515
その他	47,951	―	47,951	47,951
自動車リサイクル(部品・資源品等)	―	695,454	695,454	695,454
顧客との契約から生じる収益	18,055,115	695,454	18,750,570	18,750,570
その他の収益	―	―	―	―
外部顧客への売上高	18,055,115	695,454	18,750,570	18,750,570

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車販売関連事業	自動車リサイクル事業	計	
新車(国産車)	7,904,806	―	7,904,806	7,904,806
新車(輸入車)	1,130,749	―	1,130,749	1,130,749
中古車	8,189,312	―	8,189,312	8,189,312
サービス(車検・点検整備等)	2,100,395	―	2,100,395	2,100,395
その他	41,930	―	41,930	41,930
自動車リサイクル(部品・資源品等)	―	754,252	754,252	754,252
顧客との契約から生じる収益	19,367,194	754,252	20,121,446	20,121,446
その他の収益	―	―	―	―
外部顧客への売上高	19,367,194	754,252	20,121,446	20,121,446